

(別紙2)

令和 8年 2月 4日

モニター評価報告書

1. タイトル

障害者が安心して仕事に集中できる「calm down 室」の設置

2. 報告書の作成者

所属・部署	氏名
大成段ボール株式会社 営業部	岩崎晃介
連絡先 (住所、電話、メールアドレス)	
〒769-2701 香川県東かがわ市湊 1945 番地 TEL : 0879-25-1155 / Mail : iwasaki@taisei-dan.com	

3. 製品概要

①カテゴリ	精神不安等の対応措置 (カームダウン環境)
②品名	cozyx panel 9 枚組 L型/LL型パーテーションユニット (パネルとSUS製留め具)
③番	cozyx panel calm 型(L型、LL型)
④製品コード	
⑤希望小売価格	130,000~180,000 円 (税抜き)
機器の特徴	
⑥主な対象者	就労している精神障害者、身体障害者、知的障害者
⑦利用場面	特例子会社
⑧目的	本製品を就労者にカームダウンスペースとして利用してもらい、快適で安心して仕事に集中できる就労環境にすること
⑨利用安全の対策 (リスクアセスメント)	
素材は紙素材で、有機系の接着剤等は使用せず触れても安心で、軽量 (1枚当たり約 1.6kg) なので、安全に取り扱うことが可能	

4. 評価結果 ※申請時は④(3)まで記載してください。

①実施機関	あなぶきパートナー(株)
②実施期間	令和 7年 9月 17日 ~ 令和 8年 1月 28日 (90日間) ※日月は除く
③評価に係った	・臨床心理士、公認心理師の資格を持った香川大学の先生

職種等	・ 障害者の進路指導の知見を持った香川大学附属支援学校の先生	
④評価結果	(1) 対象者	精神障害、身体障害、知的障害を持つ、19～52歳の男女
	(2) 人数	約 22 名
	(3) 手法	<p>製品サンプルを施設に設置して、利用者の就労訓練中に使用していただき、利用前と利用後の効果を検証する。</p> <p>評価項目は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用前と利用後の心的ストレスの変化 ・ 利用前と利用後の作業効率の変化 ・ パネルの組み合わせを変えたときの変化 <p>(遮閉式利用とルーム式利用での効能変化)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 旧タイプ（木製）と新タイプ（リボード製）を比較する <p>上記項目を利用者にアンケートする。</p>
	(4) 結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多くの利用者の方に心的ストレス緩和の効果が確認できた ・ 多くの利用者の方に作業効率の変化が確認できた ・ パネル上部を塞いだルーム式のほうが、薄暗く密閉されてより落ち着けることが確認できた ・ 旧タイプ（木製）と新タイプ（リボード製）を比較すると、軽くて扱いやすい新タイプのほうが持ち運びや組立てがしやすい <p>また、新タイプのほうが内側が白いので、清潔感があり、薄暗い空間となるため程よく落ち着くことができる</p>
⑤ モニター評価から得られた効果		
<ol style="list-style-type: none"> 1. 仲介者の先生方や施設管理者の方のご意見を参考に、さまざまな視点で機器の効果を検証し、実用性と効能に間違いがないことが確認できた 2. 機器を利用することで、利用者が不安な気持ちになることが軽減され、施設管理者への負担も軽減されたことがわかった <p>従って、利用者だけでなく、導入者側である施設管理者にもメリットがあることが確認できた</p> 3. 何度もモニター場所に訪問し、製品の改良と試作を繰り返し、コスト面、強度面で満足する製品が完成できた 		
⑥期間中に発生した事故・ヒヤリハット		
ありません		
⑦期間中に発生した機器等の不具合や故障、修理や調整等		

懸念をしていた、中で人が製品に触れることによりパネルを留め具で接続している所が緩み、パネルとパネルの隙間が出来ることと、全体の歪みが出るものがしばしば発生した

下記の対応より問題を解決することが出来た

1. 天板の強化段ボールと底板の段ボールにてパネルを挟み込むように改良し、パネルをがっちり隙間なく固定することができた
2. SUS製の留め具の支持力を強くするため、L型留め具のはめ込み深さを10mm→25mmに変更し、S型留め具のはめ込み深さを10mm→30mmに変更したことにより、安定性が増し、課題を克服できた

⑧所感（使用にあたっての意見・感想）※モニター実施機関コメント

モニター施設管理者と利用者の双方から、おおむね好感を持たれ、継続使用を希望された

5.モニター評価後の特記事項・連絡事項

今後の展開としましては、大成段ボール(株)と(株)コムフレンドが協業して体制の構築に向けた取組みと商品化の実現を早期に実施いたします